

健康だより

2013
Vol.40
June



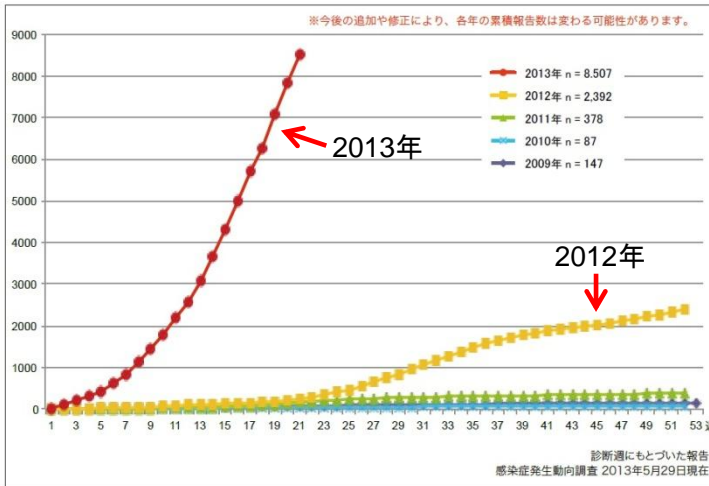
STOP 風疹!!

～予防接種を受けましょう～

感染力は
インフルエンザの
約5倍!

※風疹について、詳しくは国立感染症研究所のHPへ
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/rubella-m-111/2132-rubella-top.html>

◆ 風疹累積報告数の推移2009-2013年



★**先天性風疹症候群** (congenital rubella syndrome: CRS) とは免疫のない女性が妊娠初期に風疹に罹患すると、風疹ウイルスが胎児に感染して、出生児に先天性風疹症候群 (CRS) と総称される障がいを引き起こすことがある。CRS の3大症状は先天性心疾患、難聴、白内障である。それ以外には、網膜症、肝脾腫、血小板減少、糖尿病、発育遅滞、精神発達遅滞、小眼球など多岐にわたる。

風 疹(3日はしか)の報告数が急増しています。H24年は過去5年間で最も多い2,392例の報告がありましたが、なんとH25年に入ってからは5/29までの間に8,507人が風疹と診断されました。さらにピークはこれからだと言われています。

特 に、近畿地方や首都圏での報告が多く、患者の7割以上は**男性**で、うち**20代～40代**が8割を占めました。**九州でも**鹿児島県での流行が始まっていますので、注意が必要です。H23年度の国の調査では、20～40代の男性の15%(20代 8%, 30代 19%, 40代 17%)が風疹への抗体を持っていませんでした。一方、20～40代の女性の4%が風疹への抗体を持っておらず、11%では感染予防には不十分である低い抗体価でした。

抗 体を持たない又は低い抗体価の妊娠中の女性が風疹にかかると、赤ちゃんに難聴や心疾患、白内障や緑内障などの障害 (**先天性風疹症候群**) が起こる可能性があります。昨年の流行の影響で、H25年1月から4月までの間に、5人の先天性風疹症候群の患者が報告されました。

大 人が風疹にかかると、発熱や発疹の期間が子供に比べて長く、関節痛がひどいことがよくみられます。一週間以上仕事を休まなければならない場合もあります。また、脳炎・血小板減少性紫斑病、溶血性貧血などの軽視できない合併症をまれにおこすことがあります。

風疹の予防接種で未来の赤ちゃんを守れます

昭和54年4月2日～平成7年4月1日生まれの男女は接種率が低く、特に昭和54年4月1日以前生まれの男性は子供のころに定期接種のチャンスがありませんでした

妊娠中は風疹の予防接種を受けることができません



女性は妊娠前に

成人男性は

風疹の予防接種を受けましょう

接種回数は子供の頃の接種を含め2回です。接種後2カ月は避妊が必要ですが、「妊娠中に誤ってワクチンを接種しても中絶などを考慮する必要はない」との厚生省研究班の見解が出ています。

風疹にかかったことがない方
風疹ワクチンを受けていない方
どちらも不明の方

風疹の予防接種を受けましょう

2回接種しても問題はありません。

風疹の予防接種は、はしか(麻疹)も一緒に予防できる麻疹風疹混合(MR)ワクチンで受けることをお奨めします



- Q. 大人は風疹の予防接種をどこで受けたら良いの?
A. お近くの小児科がおススメです。予約制のところが多いようですので、まずはお電話でお問い合わせください。料金はMRワクチンで、おおよそ8,000円～10,000円程度です。

